

種別	ページ	実施項目	成 果
普 行	1 15	行政評価システムの導入	行政評価システムの本稼動により、全職員により、平成18年度事務事業を評価し平成20年度予算へ反映するマネジメントサイクルを確立。
普 行	3 18	支所機能の見直し（総合支所）	東和庁舎の完成により、7月17日から東和総合支所が執務を開始。 平成20年4月から、次長廃止。正規職員2人体制の出張所は、正規職員1人と臨時職員1人の体制。 平成21年4月に地域支援班等の見直し等、総合支所改革を実施。
普	4 ・ 9	新たな行政課題に対応できる組織・機構の見直し	平成20年4月から、各保健センターの保健師の常駐体制を見直し、健康福祉部介護保険課と健康増進課地域包括支援センターを統合し介護保険課とすること及び医療保険課と健康増進課を統合し健康増進課とする。 平成20年3月末に政策企画課総合政策班を廃止し、総合政策班の事務を関係各課へ移管する。 平成19年度末におおしま子育て支援センターを廃止し福祉課内子育て支援センターを2人体制とする。 観光協会の社団法人化に伴い、平成20年4月から商工観光課観光事業を観光協会に移管する。 平成20年4月から、図書館の運営体制について、久賀図書館を中央的図書館とし、他の3図書館を分館的図書館とし、久賀図書館には司書等正規職員2名を配置し、他の3図書館については、4名の臨時職員のローテーションによる2名体制とする。
普 行	5 26	公共施設適正配置指針の策定	ハローワーク跡地を久賀東庁舎とし、9月10日から環境生活部が執務を開始。 平成21年4月に中学校を4校（情島中学校を除く）とする学校統合が決定。統合後の跡地の有効活用が課題。
普	6	生活交通体系の再編	10月1日に、安下庄線への防長交通参入による町内4条路線の1社化。白木半島線のスクールバス一般混乗を実施。財政効果 35,642（千円）
普 行	7 25	ごみの減量化、再資源化の推進	平成20年4月から、環境センター（リサイクルセンター・最終処分場）は、環境施設課による直営管理とし、衛生センター及び清掃センターの管理は業務委託。 財政効果 環境センター 29,406（千円） 衛生センター・清掃センター 4,493（千円）
普 行	10 ～ 12 27	指定管理者制度の導入	グリーンステイながうら施設について公募を行い瀬戸内海リゾート（株）を指定管理者として指定。 ・指定期間 H20.4.1～H23.3.31 ・指定管理料 46,200（千円）3年間 （平成19年度指定管理料 24,993,552円）
普	14	学校給食調理業務の委託	公募により橘給食センターの業務委託。（受託者 むら喜） ・委託期間 H.20.4.1～H.23.3.31 ・委託額 27,621,825円（3年間） 財政効果 2,511（千円） 公募により東和給食センターの業務委託。（受託者 瀬戸内荘） 委託期間 H.20.4.1～H.23.3.31 委託額 30,191,700円（3年間） 平成21年度に久賀給食センター、平成23年度に大島給食センターを業務委託の予定。
普 行	16 9	定員適正化の推進（定員適正化計画の策定）	定年退職17人、普通退職6人、新規採用0人を予定。 財政効果 170,279（千円）
普 行	16	時間外手当の削減	振替休日の活用を指示し、時間外手当の縮減を図りました。 決算見込額28,000（千円）
普 行	17 1	その他諸手当の見直し	管理職手当率の一律2%の削減。財政効果 4,200（千円） 持ち家に係る住居手当の月額を一律2,000円から新築・購入後の5年間まで月額2,500円とした。財政効果 3,264（千円） 自家用車等使用者の通勤手当を一律20%削減。財政効果 8,351（千円）
普	22	広告掲載による収入の確保	星野哲郎記念館広告掲載要綱を制定し、星野哲郎記念館の入館チケット20万枚、パンフレット10万枚、紙袋5万枚、ビニール袋10万枚の印刷物の広告スポンサーを募集し、5社15万円の広告収入を得た。

種別	ページ	実施項目	成 果
普 行	24 3	徴収部門の強化	滞納システムの有効活用により、迅速な滞納整理事務を実施。 ・最終催告送付 61件 ・財産調査予告 21件 ・財産調査（給与・預貯金・生命保険等）36件 ・交付要求 3件 ・差押 8件
保 行	5 7	国民健康保険税及び介護保険料の見直し	20年度において「第4期介護保険事業計画」を策定し、21年度から23年度までの保険料の見直しを実施。
上 行	1 5	下水道事業の見直し	沖浦東・津海木地区の工事完了に伴い、20年4月から供用開始。
上 行	4	受益者負担の適正化（上・下水道使用料体系の見直し）	下水道使用料検討協議会の答申を受け、20年4月から下水道使用料の改定。 ・UP率約30% ・財政効果 15,197（千円）
公 行	1 14	病院事業のあり方の検討	大島病院新築工事設計監理業務の条件付き一般競争入札を8月29日に行った結果、6社の内株式会社松田平田設計が予定価格の約49%の37,000千円で落札。現在実施設計中。
行	14	パブリックコメント制度の活用	中学校統合後の跡地の有効活用について、ホームページ、広報により、一般住民の提案募集。応募者10名。
行	17	職員提案制度の導入	中学校統合後の跡地の有効活用について、職員提案を募集。応募者18名。